

子どもの便秘 ② ～便秘の悪循環がおこるわけ～

便秘のメカニズム

便秘を放置するとだんだんひどくなります。それは次のようなメカニズムによります。便秘症は排便をがまんできるようになる1～2歳のころから始まります。強制的なトイレトレーニング、無理やりの浣腸、家庭環境や生活環境の変化などが誘因となることが多いようです。便秘の悪循環を断ち切るには、排便すると気持ちいいという体験を繰り返しさせてあげることが大切です。

- ① 硬い便をして出血する、痛がる
- ↓
- ② 排便をがまんする
- ↓
- ③ 大腸に便が残る
- ↓
- ④ 水分が吸収されて便が硬くなる
- ↓
- ⑤ 排便の痛みがさらに強くなる
- ↓
- ⑥ 硬い便が大量にたまり直腸が広がる
- ↓
- ⑦ 便意(うんちをしたくなること)を感じなくなる
- ↓
- ⑧ ますます便秘がひどくなる

5月の感染症情報

5月に入って市内の保育所で水痘が流行しています。水痘ワクチンが2014年から1歳から3歳のお子さんを対象に定期接種として実施されています。ワクチン接種が完了していないお子さんは早急に接種をするようにしましょう。また5月中旬には、インフルエンザの発生はほぼなくなりました。

次回は便秘症の治療についてお話します。

シリーズ キッズケア・青い鳥がめざす保育 ③

～ 発達を学び、発達の一歩前の活動を知ることで、発達を促す保育を！～

生後4か月ごろ

～7ヶ月に大きく発達するためのエネルギーが生まれます～

腹ばいになって
顔をあげる
(何があのか)

2か月の体の不自由さが消え、自由に動かせるようになった手や姿勢で、**自分から意志をもって**人やおもちゃを触ろうとします。

〇〇したい・〇〇欲しいって
目、表情、発語で言ってるよ
気が付いてあげてね

これとこれ、どっちに
しようかな

“発達子どもの
願いから始まる”
白石正久著より

目の前でガラガラを振ったり、子どもと同じ目線になるように腹ばいになったりして、楽しい遊びをして共感してあげましょう。言葉はわからなくても、心が通じて、子どもはより一層興味をもって手を伸ばしたり、体を動かしたりするようになります。

お母さんがガラガラを
振っている！楽しそう
やってみようかな

次回は7ヶ月頃をします。

5月のご利用状況

5月の利用延べ人数は69名、一日平均利用人数は3.6人でした。年齢別では、1歳児が27名(39%)で最も多く、次いで0歳児の15名(22%)、2歳児の11名(16%)の順でした。疾患別では、急性上気道炎が32名で最も多いものの、ヒトメタニューモウイルス感染症、RSウイルス感染症、アデノウイルス感染症、溶連菌感染症、水痘など多彩な感染症がみられました。長期休暇に伴う疲れと季節の変わり目のせいか気管支喘息で入室したお子さんもありました。